

高山駅周辺地域のまちづくりの経過

平成10年	高山駅周辺土地区画整理事業認可
平成15年	シビックコア地区整備計画策定
平成16年	高山駅周辺地区まちづくり協議会設置
平成17年	昭和児童公園(愛称:ポッポ公園)完成
平成21年	JRアンダーパス開通
平成24年	高山駅東西線 都市計画事業認可
平成25年	総合交流センター基本構想策定
平成28年	JR高山駅新駅舎、東西自由通路完成 高山駅西口駅前広場供用開始
平成29年	高山駅西駐輪場、高山駅西駐車場供用開始
平成30年	高山駅西交流広場、高山駅東口駅前広場 供用開始 高山駅西地区まちづくり基礎調査(～平成31年3月)
令和2年	高山地方合同庁舎供用開始

◆留意事項

高山駅西地区まちづくり構想の策定や推進にあたっては、次の点に留意して進めます。

①市民とともに取り組む

高山駅周辺は、多くの観光客を受け入れる市の顔となる地域です。また、交流・生活支援や、公共交通の拠点として多くの人が集まる地域でもあります。

そのため、市民、事業者、団体など、まちづくりに関わる多様な主体と意見を交換し、認識を共有して構想を策定します。

②官民が連携して取り組む

地域を活性化し、持続的なまちづくりを進めるため、事業者による商業機能の整備や、地域団体活動の活性化、景観形成・緑地の確保などを進めます。

また、複合・多機能施設の整備にあたっては、建設から運営に至るまで、事業者のノウハウを活かす「PPP手法」の活用も検討します。

③中心市街地活性化と連動して取り組む

中心市街地における高山駅西地区の役割を明らかにし、全体の活性化と連動させます。このため、構想の策定にあわせて中心市街地活性化基本計画を見直し、一体的に取り組めます。

複合・多機能施設のイメージ

施設機能の例示です。今後、皆さんからの意見を参考にまとめます。

▶機能

文化芸術機能／生涯学習機能／福祉機能／子育て支援機能／交流機能／情報発信機能／防災機能／商業機能

▶整備内容

- 芸術鑑賞や講演会などができる文化ホール
- 年齢、性別、国籍、障がいの有無を問わず、誰もが楽しみ、生きがいを持って活動や交流ができるスペース(研修、教養講座、相談、創作活動、健康増進活動、福祉活動など)
- JRや路線バスの待ち時間に気軽に立ち寄り、休憩や学習をしたり、本・インターネットなどの情報に触れたりできるスペース
- 季節・天候に左右されず、子どもたちが自由に遊べるスペース
- イベントなどができるオープンスペース
- 産業や文化芸術などの展示・発表スペース
- 災害などで公共交通機関が停止した際の一時滞留(避難)スペース
- 地域特産物の物販やサービス提供などができる商業スペース(民間機能の併設)

皆さんの意見や

要望をお聞かせください

市の基本的な考え方や、この地区のまちづくりに対しての意見などを募集します。

「こんなまちにしたい」、「こんな機能や施設があったらいい」など、さまざまな意見や要望をお聞かせください。

提出 6月30日(木)まで



問合せ 企画課 ☎ 35-33131

FAX 35-33174

✉ kikaku@city.takayama.lg.jp

広報ID 1016572

